

備前市事務事業評価表

事務事業名	備前焼振興事業		コード	04-03-01-12
			担当課・係	商工観光課 観光係
			担当者	岩崎和久
			電話	64-1832(274)
事業実施期間	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
総合計画 事業(政策)体系	中項目(基本施策)	個性あふれる観光のまちづくり		
	小項目(施策)	観光		

事業について	
目的 (何のために)	全国に誇れる備前焼を観光看板として全国展開し、観光振興による産業の活性化と人口増を促すとともに、日本の伝統美術の伝承と歴史的な財産の保存のため。
対象 (誰・何を対象に)	観光関係団体、観光客など
内容	備前焼伝統産業会館管理運営事業、備前焼まつり補助事業、備前焼振興対策事業、六古窯サミット事業、伝統的工芸品産業振興協会会費

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
伝統産業会館入館者	35,259 人	33,483 人	
陶芸美術館入館者	19,812 人	18,602 人	
まつり来場者	120,000 人	150,000 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	13,159	間接補助金等		直接事業費	4,121	間接補助金等	
	人件費	1,708	受益者負担		人件費	2,399	受益者負担	
	合計	14,867	一般財源等	14,867	合計	6,520	一般財源等	6,520

結果指標	必要人員	0.20 人	0.32 人	
	結果指標名	会館等入館者	会館等入館者	
	結果指標量	55,071	52,085	
	単位	人	人	
結果指標	対前年比		94.58%	0.00%
	活動にかかるコスト	14,867,000 円	6,520,000 円	
	単位当たりコスト	270 円	125 円	
	結果指標名			
結果指標	結果指標量			
	単位			
	対前年比	-		
	活動にかかるコスト			
結果指標	単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	備前焼伝統産業会館等の利用者増		
成果指標名	備前焼伝統産業会館等の利用者		
	式又は説明		
	観光動態調査による推計		
	17年度	18年度	
成果指標量	55,071	52,085	
対前年比	-	94.58%	0.00%
到達目標値	70,000	到達目標年度	20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	全国に誇れる優れた観光資源を有効に活かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	効率性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	効果を検証しながら最新のニーズに対応できるように整備する必要がある。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後とも向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> C 課題認識	

平成19年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
備前焼のブランド力の減退が、顧客ニーズの多様化、個性化から、現状の衰退を打破するような方策が必要。		
目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	備前焼の伝承と普及という面からの施設管理運営及びイベントによる大衆層へのアピールなど、事業効果は高いと思われる。しかしながら、次世代が求める満足度を研究しながら、浮遊層&富裕層の方向性を的確に捉えていく必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	観光客のニーズを敏感につかむ必要がある。箱物には管理運営を十分検討する。	随時	定期的な管理と観光客の増加